

別添

(様式第1号) (第3条関係)

申請書記載例

(※労働者側からの申請の場合)

個別労働紛争あっせん申請書

申請書の提出日を記入してください。

〇年〇月〇日

長野県労働委員会 会長 様

押印は不要です。

申請者 〇〇 〇〇

あっせんして欲しいこと (要望すること) を記入してください。
(不満なことは明記、どうして欲しいのかを記入してください。)

あっせん事項 (相手方に求める内容を具体的に記載してください。)		〇年3月31日に理由もなく解雇を言い渡されたのは納得できない。解雇を撤回し、働き続けられるようにして欲しい。			
労働者	氏名	〇〇 〇〇			
	住所	長野市〇〇町546			
	連絡先	〇〇〇〇-△△-××××			
	勤務期間	2010年4月1日～ 年 月 日			
	勤務場所	所属名	〇〇株式会社長野事務所総務部		
		所在地	長野市××町123-4		
	労働組合の有無等	有 (名称 : 加入の有無 有・無) ・ 無			
使用者 (事業主)	名称	〇〇株式会社			
	代表者職氏名	代表取締役社長 〇〇 〇〇			
	所在地及び連絡先	(TEL)			
	従業員数	×××名			
	事業の内容	運送業	設立年月日	昭和55年4月1日	
		資本金	5,000万円	連絡責任者	〇〇〇〇

平日昼間に連絡のつく番号を記入して下さい。

会社で勤務している (いた) 期間を記入してください。

勤務している (いた) ところを、部・課・係名まで記入してください。

実際に勤務している (いた) 場所の所在地を記入してください。(本社ではありません)

社長等代表者の職名・名前を記載してください。(広範囲に支社・支店等のある会社で勤めている場合は、勤務場所を所管する支社・支店長の名前を記載してください。)

上記の代表者等がいる所在地を記入してください。

会社全体の従業員数を記入してください。

事業の内容を簡単 (例: 食品製造業、小売業等) に記入してください。

この紛争に関して会社側の窓口と思われる人の役職・氏名を記入してください。

- (注1) 申請者欄には、氏名 (代表者名) を記載してください。
- (注2) 相手方の状況は、わかる範囲で記入してください。
- (注3) この申請書 (写) は、相手方 (被申請者) に送付します。

主 張 の 要 点	
労 働 者	使 用 者 (事業主)
3月31日、会社から、会社の業績が悪いとの理由で、一方的に4月30日で解雇すると言われた。しかし、会社の業績はそんなに悪くはないはずだ。解雇を撤回してもらい、引き続き働きたい。	会社の売上げが、○年度は前年よりも10%減った。△年度は、更に減ることが予想され、人員を削減しなければ会社は倒産してしまう。よって、解雇した。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 双方の主張を、書いてください。相手方の主張は、今まで話し合った中できいている内容で結構です。 </div>	

申請に至るまでの経過

月	日	経過
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 勤務し始めた経過から、紛争が発生し、交渉し、あっせん申請した経過について、記入してください。 </div>		
2010年		
4	1	〇〇株式会社に正社員として入社し、長野事務所総務部に配属される。
〇	年	
12	10	伊那本社から〇〇社長が長野事務所に来て、〇年の会社の業績が落ち込んでいて、今後業績の回復が見込まれないので、人員整理を行うことが告げられた。
△	年	
2	1	全員朝礼時に、伊那本社から来た〇〇人事課長が、退職希望者を募集した。 (会社全体で10名募集 2月15日まで募集) 私は、退職希望に応じなかった。
2	20	全員朝礼時に、〇〇人事課長が、退職希望者が5名しかいなかったのので、引き続き希望者を募集することと、職場を異動してもらう者が出る旨告げた。
3	1	長野事務所の〇〇所長から、4月1日に伊那本社勤務の転勤命令が告げられた。 私は、寝たきりになっている父の介護をしなければならぬので、転勤できないので長野事務所で引き続き勤務できるようにして欲しい旨、要請した。
3	31	〇〇人事課長から、再度、転勤して欲しい旨要請を受けたが、断ったところ、4月30日をもって解雇する旨の解雇予告通知書が手渡された。
4	1	長野事務所の〇〇所長に、解雇をやめ、長野事務所で引き続き勤務出来るよう要請したが、本社が結論を出したので、所長では何ともしがたい旨言われた。
4	3	伊那本社へ出向き、〇〇人事課長に面談し、引き続き長野事務所で勤務したい旨告げたが、経営上やむなしとのことで断られた。
4	8	北信労政事務所に出向き、労働相談を行った。その際、個別労働紛争に係るあっせん制度について説明を受けた。
4	12	北信労政事務所窓口で、あっせん申請をした。

(特記事項がある場合は記入してください。)

父親が寝たきりで、私と妻の2人で交替で介護している。

何か、特別な事情がある場合は、その内容につき記入してください。

参考となる資料があれば添付してください。

(添付書類：労働契約書、就業規則など参考となる資料の写し)